

香南市役所 伝言板

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです



中秋の名月は
九月三十日です

7月19日(木) 環境対策課 ☎57-8508 今から始める環境対策

香我美小学校4年生を対象に、環境出前授業を行いました。高知県地球温暖化防止活動推進員の方を講師に迎え、環境クイズや家庭でのエネルギー使用量の多さをパソコン画面などで分かりやすく解説いただき、地球温暖化の原因などを学習しました。

また、家庭で子どもが主導権をもって省エネ活動に取り組めるようにする「子どもにもつけられる環境家計簿」への取り組みを学習。家庭で目標を定め省エネ活動に約3カ月間チャレンジし、その結果を11月に再度出前授業で確認します。子どもたちは自分たちが今できる温暖化対策を継続することが、未来へと繋がることを学びました。



7月31日(火) 企画課 ☎57-8503 8つ目のまちづくり協議会設立!

まちづくり協議会は、町内会・自治会、各種団体などをまとめた大きな組織です。今回設立された野市町の「東町・東中筋まちづくり協議会」は、集合住宅の多い市役所周辺とその南の地域です。協議会へ参画する世帯数は、263世帯。平成20年から話し合いを重ねてきました。設立総会では、のいふれあいセンターへ50人を超える住民が集まり、役員や事業計画などについて協議、決定をしました。今後は、地域住民の声を行政や地域活動につなげ、生涯学習を通じた住民間の交流を深めていきます。

【8月末現在の協議会数】

- ◆野市町 10の内2協議会
- ◆香我美町 6の内6協議会



8月1日(水) 企画課 ☎57-8503 物部川の抱える問題を学ぶ

香南市・香美市・南国市の子どもたち50人が、アクア・リプル・ネットワーク主催の物部川環境学習バスツアーに参加しました。ツアーでは吉川漁港を訪れ、市内の海岸にも海ガメが産卵に訪れることを学習。また、数日前にふ化した赤ちゃん海ガメとも触れ合いました。学習の中では、川の濁水や流木、日常ゴミが原因で、生き物がビニールを飲み込んだり、ふ化した海ガメが海まで辿り着けないことも学びました。

また、日ノ御子河川児童公園では、澄んだ川で遊び「めっちゃくちゃきれいや〜」と大騒ぎ。そこに住んでいる魚や生き物を発見したり、昼食に川のほとりで川魚を食べるなどして、川の恵みを十分に堪能しました。ツアーを通して笑顔が印象的だった子どもたち。この体験で物部川の美しい姿を知るとともに環境問題にも触れ、子どもたちは自然の大切さを学んだ日となりました。



7月27日(金) 商工水産課 ☎57-7520 祭りの前も後も気持ちよく

第6回香南市みなこい港まつりの開催に伴う事前清掃活動が行われました。祭りの実施前後には商工会青年部や地域の各種団体などの実行委員会メンバーが清掃活動を行っていますが、今年は高知工業高等専門学校野球部のボランティア約20人の参加をいただき、例年以上に清掃活動がスムーズにできました。ご協力いただきました皆さん、どうもありがとうございました。



平成23年度緊急雇用事業補助金における不正受給について

この度、本市職員の不適正な事務処理による補助金の不正受給について、市民の皆さまの信頼を著しく失墜させることとなり、心からお詫びを申し上げます。

法令を遵守する立場にある市職員の本行為につきましては、誠に遺憾であり、厳しく受け止めております。

今後、すべての職員に対して法令遵守と綱紀粛正の徹底を図り、再発防止と信頼回復に務めてまいります。

香南市長 清藤 真司

紙芝居の下絵▶

伝 山北棒踊りインターネット版紙芝居 統文化を世界に発信

7月31日(火)香南ケーブルテレビで、山北棒踊りのインターネット配信用紙芝居のアフレコ収録が行われ、香我美小学校6年生8人が台詞(声)を録音しました。児童らは「難しいところもあったけど、いい経験になりました。紙芝居を見てもらって、多くの人に棒踊りのことを知ってほしいです」と意気込んでいました。現在、香我美小学校卒業生の田中菜生さんが紙芝居の絵14枚を描いており、11月から市教育委員会のホームページで公開する予定です。



香 家族ふれあい釣り大会 南の最北端で自然を思う存分満喫

8月3日(金)香我美町舞川で、家族ふれあい釣り大会が行われ、小学生ら約300人がアメゴ釣りやつかみ捕りを楽しみました。この日放流されたアメゴは約3,000匹。透き通る川に釣り糸を垂らし静かにアメゴを狙う釣り人とは対称的に、川の中に作った生けすの中を泳ぐアメゴを捕まえて大はしゃぎする子どもたちの歓声が、静かな山里にこだましていました。ある参加者は「毎年楽しみに来ています。これもひとえに、地元の方の温かなおもてなしと、自然を大切にいただいているおかげですね」と感謝の気持ちを表していました。



む よみがえれ土佐民謡展 紙芝居講座 かしまっこう、さるまっこう

8月1日より開催されている市原麟一郎氏の土佐民謡展の関連企画である紙芝居講座が8日に野市図書館で開催されました。「水こい鳥」や「おちゅんじいやん」などの民謡紙芝居が行われ、参加していた子どもも大人も真剣に聞き入っていました。紙芝居の終わりに「むかしまっこうさるまっこう、さるのつべはぎんがりこ」と言うと、子どもたちはきよとん。その表情を察してか、「語り納めの、めでたしめでたし」という意味を説明すると、子どもたちも納得。紙芝居が終わると、市原さんが作ったなぞなぞを出題。難しい問題もあったけど、みんな元気に手を上げて答えていました。



帰 高知龍馬空港みかん消費宣伝 省客におかえりなさい

8月13日(月)高知龍馬空港で、盆休みに合わせて帰省客に山北みかんのPRとしてみかんを配りました。約900人分のみかんが用意され、もらった帰省客たちは思いがけないおもてなしに驚いていました。この活動は今回で23回目。中には、以前にももらったことがある人もおり、「またもらえて嬉しいです」とにっこり笑顔を浮かべて、到着ロビーを後にしていました。



◀笑顔で帰省客を迎えるミス・マーメイドの2人